

ひと・夢・まち 町長コラム

一緒に委員をやる人とは？（令和3年8月号）

西郷どんの教えその30

自分のことを捨て、係のしごとの名前もいらない。委員の立場もいらない。ましてや、ご褒美もいらないという人はどう付き合っていかわからない。

しかし、このような人でないと、一緒に困難を乗り越え、学校（まち）やクラス（地域）を良くしようとすることはできない。

「見返りを求めているようでは、いい学校（まち）づくりはできない」全41章にもおよぶ南洲翁遺訓の中で、一番多くの人に感動を与えているのがこの章だそうです。地方創生の時代と言われ「ふるさと納税」という仕組みもまちづくりに取り組まれている現在、多くの方々から当町に支援をいただいています。ふるさと納税をしていただいているの方々の中には、確かに返礼品を楽しみにしている方もいますが、基本的に中山町を応援したいという人であることを常に念頭に置きたいと思います。その気持ちを尊重し、そして、応えなければいけないと思っています。加えて、「ふるさと納税」以外にも寄附をしていただいている方々が大勢おられます。

見返りを求めている方は誰一人いないし、中山町をこよなく愛し、これからのまちづくりに期待を寄せていただいている仲間です。

この場をお借りして改めて感謝申し上げます。